

関 綾乃 ニュース

Seki Ayano News

2023.05

情報
発信中!

facebook

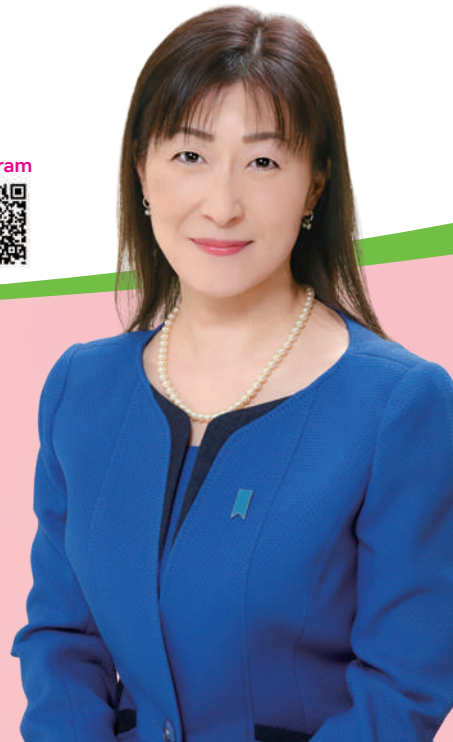
Instagram



住んでよかった朝来市に ～住んでいる人にやさしいまちづくりを!～

ご挨拶

新緑の季節、皆さまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。3月の朝来市議会定例会では、令和5年度一般会計予算の審議が行われ、この中で全天候型運動施設の基本設計のための3,600万円の予算が提案されました。関 綾乃は以前から全天候型運動施設の建設については長年スポーツをしてきた者として賛成の立場を取ってきましたが、建設場所やアリーナの大きさ等に大きな反対の思いがあり、予算の執行留保(予算執行を留める)の議員発議を行いました。議会最終日は幾度の会議中断があり、非常に時間がかかりましたが、議員全員(議長を除く)の賛成をいただき、旧和田山医療センター跡地整備計画は執行留保され、建設地については今後、再検討されることになりました。



全天候型運動施設建設予定地 旧和田山医療センター跡地整備計画 執行留保を発議 全会一致で可決

但馬の気候を有する本市において、年間を通じた市民のスポーツ振興と健康増進を図れる施設の必要性から全天候型運動施設の設置については建設が望まれます。しかし、以下の点で市の説明に対し充分な理解が得られたとはいえないため、原案に対する執行留保の議員発議を行いました。

1 候補地は旧和田山町であり、過疎債の利用が出来ない。防風壁等を備えた他施設建設費用を参考にとすると建設に6億円が想定され、候補地は傾斜地のために造成費に3億円が加算される。本市の財源ではかなりの負担となるので過疎債の利用が望まれるが、過疎債を利用できるのは旧山東町、旧朝来町、旧生野町である。

2 建設予定のアリーナの大きさは60m×40mで多種目のスポーツを行うには中途半端である。新しい施設については子どもから高齢者まで幅広い世代の市民がスポーツを行ったり、集える場であるべきだと議会も懇話会も考え

ている。子ども達への投資・未来への夢ある投資とは到底いえない。健康の促進やスポーツを行う人口の増加を望むのは難しいのではないかと。

3 全天候型運動施設は雨天時だけでなく晴れた日にもスポーツだけでなく幼い子ども達が走り回ることができることや、障がいを持つ方や親子が体を動かしたりイベントを開催できるアリーナとしても利用できるよう期待する声も上がっている。アリーナはフラットでも駐車場や附帯設備までの傾斜は決して身体的に優しい土地とは思えない。この候補地では眼前に朝来市が誇る竹田城跡はあるものの、施設利用に関連付けられるゾーニング施設もない。本市が今後の賑わいを視野に入れながら、まちの活性化を考え、公共施設を配置するのであればこの建設地はその期待に応える地とは考えにくい。

4 建設予定地の土側に福祉施設がある。建替え時の用地提供等、市として協力の有無など確認しているのか否かの説明も待たれる。

5 関綾乃の一般質問(令和4年9月)では「候補地を比較検討する段階でお示しできればと考えている」との答弁にもかかわらず示されないままであり、充分な説明が議会になされているとはいえない。

以上の理由により執行留保する提案を行いました。



旧和田山医療センター跡地(和田山町竹田)



発議第5号 議案第15号
令和5年度 朝来市一般会計予算の
一部の執行留保に関する決議について



2023年2月16日、南但広域行政事務組合議会において、一般質問を行いました。

(南但広域行政事務組合は構成市である朝来市、養父市の消防業務、電算業務、ごみ処理業務、南但スポーツセンター、南但休日診療所業務を行っています。南但広域行政事務組合の予算等の議決は南但広域行政事務組合議会で行われ、組合議会は朝来市、養父市の市議会議員(それぞれ6名、合計12名)で構成されています。

令和5年 第165回

南但広域行政事務組合議会 定例会 一般質問 (抜粋)

質問 関 緊急事態に駆け付け、的確な処置を行う救急隊員の中でも専門的な知識を有する救急救命士の存在は非常に心強いです。救急隊員と救急救命士の違いと2021年10月に救急救命士法が改正され、どのような救命処置が可能になりましたか。

答弁 消防長 救急隊員については、口腔内の吸引、経口エアウェイによる気道確保、マスクバックによる人工呼吸、酸素吸入器による酸素投与などの他、血圧計による血圧の測定、聴診器による心音と呼吸音の聴取、パルスオキシメータによる血中酸素飽和度の測定などの処置が実施可能です。救急救命士については、救急隊員が行う応急処置に加え、救急救命士法により定められた救急救命処置が実施可能で、医師の包括的な指示によるものとして医師により事前に指示されたものとみなしてあらかじめ取り決められている手順に従い、救急救命士の判断により実施可能な処置として低血糖症状を疑う傷病者に対する血糖測定器を用いた血糖測定などがあり、医師の具体的な指示が必要な特定行為の救急救命処置として乳酸リンゲル液を用いた静脈路確保のための輸液、気管内チューブによる気道確保、アドレナリンを用いた薬剤の投与などの処置が実施可能です。救急救命士の行う救急救命処置には医学的専門性から高度な応急処置として医師の包括的または具体的な指示により実施するというのが救急隊員の応急処置と異なる点です。

質問 関 南但消防本部の救急救命士は何名ですか。内女性の人数は。

答弁 消防長 救急救命士は41名です。内女性は1名です。

質問 関 救急救命士は救急現場の状況を自ら判断して言葉で伝え、ドクターの具体的な指示とプロトコルに従って救急現場で正確に処置を実行する等、非常に高度な知識と技術が求められます。救急救命士の資格を取るにはどの位の時間を要しますか。

答弁 消防長 救急救命士の資格取得には兵庫県消防学校内の救急救命士養成科で約7か月間、座学、実技、シミュレーションも含め、病院実習も10日間受けた後、国家試験合格で資格取得となります。

質問 関 過去には南但消防本部のドクターヘリ要請回数が日本一だったという年もあると聞いています。消防本部とドクターヘリの連携は？

答弁 消防長 南但消防本部では管内の救急事案に対し、救命率の向上と後遺症の軽減を図るためにドクターヘリの出動要請は消防機関が行い、離着陸場所(ランデブーポイント)への安全な離着陸を消防隊が担うなどお互いの任務を十分理解し、情報を共有しながら傷病者の早期搬送と早期治療が実施できるように連携強化に努めています。

質問 関 レベル4の飛行が可能となった無人航空機(以下ドローン)の利用について、南海トラフ地震の備えからドローンを利用した防災、災害対応、災害支援について多面から期待が寄せられ導入や利用を始めた自治体が増えています。ドローンの活用実績と今後ドローンを南但消防本部で保有して活用を視野に入れるという考えはありますか。

答弁 消防長 実災害においての使用実績はありませんが、現場の状況を一定程度確認することが出来るなどドローンの利用は有効であると判断しています。今後、ドローンの導入や維持管理について先進地を参考に検討を進めていきたいと考えています。

質問 関 想定外と言われる災害が全国各地で発災する現在、隊員の大切な命を守ると共に少しでも災害を小さく留めるためにも消防本部でドローンの導入とパイロットの養成を提案します。

2023年4月16日

神子畑桜まつり・生野へいくろう祭

神子畑選鉱場跡において神子畑桜まつりが催されました。当日は普段見ることが出来ない神子畑選鉱場跡上部からの見学会も行われ、改めてスケールの大きさを実感しました。生野銀山では生野へいくろう祭が催され、全日本トロッコカ自慢選手権大会では参加選手の力自慢が披露されました。



◀ 神子畑選鉱場跡上部から



力自慢大会のトロッコ ▶

